

2022ビジョナリー討論会

大地と海洋

における 超エネルギーマネージメント

本セミナーでは、大地と海洋における極限条件下で行われている究極のエネルギーマネージメントをいくつか取り上げ、情報・エネルギー・環境を繋ぐ近未来のエコシステムについて考える。各分野のオピニオンリーダーを講師に招いて、「**大地**」における廃棄物再利用による温室効果ガスの削減、輸送の電動・EV化、食品残渣(フードロス)を有効活用し、直接エネルギーに変換するなどの取り組みを通じて複合的討論する。「**海洋**」からの藻類を安定培養技術よりバイオジェット燃料生産の実用化を目指すプロジェクトや海底における腐食性微生物の面白いエネルギー代謝というユニークな電子移動メカニズムに注目し、そのサイエンスを如何に有効利用できるかについて討論する。

開催日時 2022年

12月1日 木
13:00~17:45

開催形式

オンライン(Zoom)



講演5件、講演時間

50分(質疑応答を含む)

主催 電気化学会 キャパシタ技術委員会

共催 キャパシタフォーラム、東京農工大学

協賛
(予定を含む)

電気化学会関東支部、電気化学会電池技術委員会、電気化学会溶融塩委員会、電気化学会料電池研究会、自動車技術会、日本材料学会、表面技術協会、炭素材料学会、黒鉛化合物研究会

大地と海洋における超エネルギーマネジメント

Program

13:00~13:05	委員長挨拶
13:05~13:55	「農業×ICT」と農業エネルギーマネジメント ～一次産業の振興を通じた地域循環型社会の実現をめざして～ 株式会社NTTアグリテクノロジー 代表取締役社長 酒井 大雅 氏
13:55~14:45	地産地消なEH(エナジーハーベスティング) ～CLEAN-Boost®技術でEHをICTに活用～ エイブリック株式会社 CEOオフィス ビジネス・ディベロップメントユニット 宮原 康之 氏
14:45~15:00	休憩
15:00~15:50	深海における極限環境微生物のエネルギー代謝・変換 海洋研究開発機構(JAMSTEC) 超先鋭研究開発部門 若井 暁 氏
15:50~16:40	マリンバイオロジーと微細藻類からのバイオジェット燃料の社会実装 東京農工大学 工学研究院生命工学専攻 教授 田中 剛 氏
16:40~16:55	休憩
16:55~17:45	提言 EV大国日本はなぜ立ち遅れたのか? 「Mobilityのカーボンニュートラルへの挑戦 ～WTW(Well to Wheel)のCO₂低減に向けて～」 神奈川工科大学 石川 哲浩 氏

参加費 ※講演資料集PDFを含む

- キャパシタ技術委員会会員 ————— 無料
- 共催団体会員(キャパシタフォーラム・東京農工大学) ————— 無料
- 協賛団体会員 ————— 5,000円
- 非会員(一般) ————— 20,000円
- 非会員(学生) ————— 1,000円

参加予約申込

参加者氏名、勤務先などの情報をご用意のうえ、
2022年11月22日(火)までに下記Webサイトより
 お申込ください。

(Web申込みが不可能な方は事務局までご連絡ください)

参加登録

URL <http://capacitor.electrochem.jp/>



※本委員会個人会員が指導する学生は無料です。

※申し込み後3日以内にのご案内のメールが届かなかった場合は事務局までご連絡ください。

※参加登録後のご案内する指定の口座へ2022年11月25日(金)までに参加費をご送金ください。

※原則参加者のご都合による参加費の返金はいたしかねます。

※本委員会会員は無料です。この機会にぜひキャパシタ技術委員会への入会をご検討下さい。

キャパシタ技術委員会
 年会費(ご参考)

個人会員 …… 3,000円
 法人会員 …… 50,000円

特典

- 定例研究会の参加費免除(同伴者も対象)
- 本会主催の国際会議(ICAC)の各種割引
- 会誌「キャパシタ技術」 など

お問い合わせ先

公益社団法人 電気化学会キャパシタ技術委員会事務局

〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1 群馬大学 大学院理工学府 分子科学部門 炭素材料電極化学研究室内

TEL:0277-30-1352 FAX:0277-30-1353 E-mail:capatech@electrochem.jp

